

私たちは地域の「よろず相談所」でありたいと願っています。



ごあいさつ

平素は、但陽信用金庫に深いご理解と格別のお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の企業理念・経営理念、令和5年度における業績や業務の内容・地域貢献活動などについて、より深くご理解いただきたく「たんの現況」－2024年版－を作成いたしました。ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更に伴い外国人観光客が急増するなど、経済活動が活発化し景気は回復基調となりました。一方で、自民党派閥の政治資金パーティー裏金問題、海外ではロシア・ウクライナ戦争の長期化や中東におけるイスラム原理主義組織ハマスとイスラエルの戦闘、中国経済の先行き懸念など世界的な政情不安が、金融機関を取り巻く環境に極めて大きな影響を及ぼしました。

また、令和6年3月に日本銀行がマイナス金利解除および長短金利操作(YCC)を撤廃し金融政策の正常化に一歩踏み込んだことにより、金融機関が10年以上続けてきた超低金利に対応した経営戦略の見直しが求められることになりました。

当金庫は、このような激変する社会情勢の中、地域に根差した金融機関として「独自性のさらなる発揮」「“よろず相談所”の実践」を通じた金融仲介機能の発揮、さらには当金庫のパーパス「役職員とお客様の満足、『何をすれば喜んでいただけるか』を追求し、地域の持続的発展に寄与する」を真摯に実践し、地域になくてはならない金融機関を目指して取り組んでまいりました。

その結果、前年度を上回る13億51百万円の当期純利益を確保することができましたことは、ひとえに皆様方の温かいご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和6年度は、ウクライナや中東の地政学リスク、中国の台湾政策の動向など、不透明で行く末が懸念される状況ではありますが、インバウンド消費の回復や企業の賃上げ努力による個人消費の回復期待など、景気回復の動きも顕著になってきたところです。

当金庫は、2年後の100周年に向け、今年前半の預金量1兆円達成を視野に入れつつ、より一層「パーパス」および「よろず相談所」の実践に取り組み、お取引先の一先一先に金融業務はもちろん、どのようなことでもお役に立たせていただくべく、さらに積極的に取り組んでまいります。

何卒、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

但陽信用金庫

理事長 桑田 純一郎

但陽信用金庫の概要 (2024年3月末現在)

創 業	1926(大正15)年6月10日
本 店 所 在 地	兵庫県加古川市加古川町溝之口772番地
会 員 数	32,471名
出 資 金	10億65百万円
預 金	9,686億円
貸 出 金	3,416億円
店 舗 数	34店舗、71出張所(他金庫幹事3出張所含む)
常勤役職員数	601名

営業地区

加古川市	高砂市	姫路市(旧飾磨郡家島町を除く)
揖保郡	たつの市	養父市 朝来市 神崎郡
加西市	加古郡	三木市 小野市 加東市
西脇市	明石市	神戸市西区・垂水区

但陽信用金庫の現況 2024年7月作成

本ディスクロージャー資料は、信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成しました。